

四国経済新聞

【弁護士の役割（良い弁護士と悪い弁護士）】

山口達也の謝り？（禊ぎ？）会見があった。これが非常に感じが悪い。理由は山口の後ろにいる弁護士だ。

1) 「それは捜査中ですので・・・」 ←これを言わないように指導出来ないか？

元国税庁長官の答弁と同じだ。これでは謝り（禊ぎ？）にならない。卑怯者になる。

2) 「T O K I Oに戻れたら戻りたい」 ←これも言わないように指導出来ないか？

弁護士に頼んだことがやぶ蛇になっている。

ここで弁護士の役割を再考する。

山口達也自身の為を考えたら、弁護士に頼まないで、山口自身の言葉で率直に謝った方が良いと思うが如何だろう。その方が山口の為だと思うが如何だろう。それが復帰も早まると思うし被害者の為だ。高い弁護士料を支払ってやぶ蛇になっている。

元東京都知事の舛添氏の場合と同じ。あまりにも頭が悪いのだ。「違法ではないが適正ではない。」これもやぶ蛇だ。

良い弁護士もいるが、悪い弁護士もいる。知識の試験のみで性格テスト等の人間性のテスト無し、悪徳弁護士も相当の数存在しているのだ。

誠に恐い話だ。どちらを選ぶかは山口次第か？それともジャニーズ事務所側が考えてやらないとダメ。非常に残念だ！！ ただし、普通の国民には弁護士は頼んでみないと分からないのが実情だ。

< 龍馬社長大学 学長 奴田原 惇郎（ぬたはら・あつお） >